

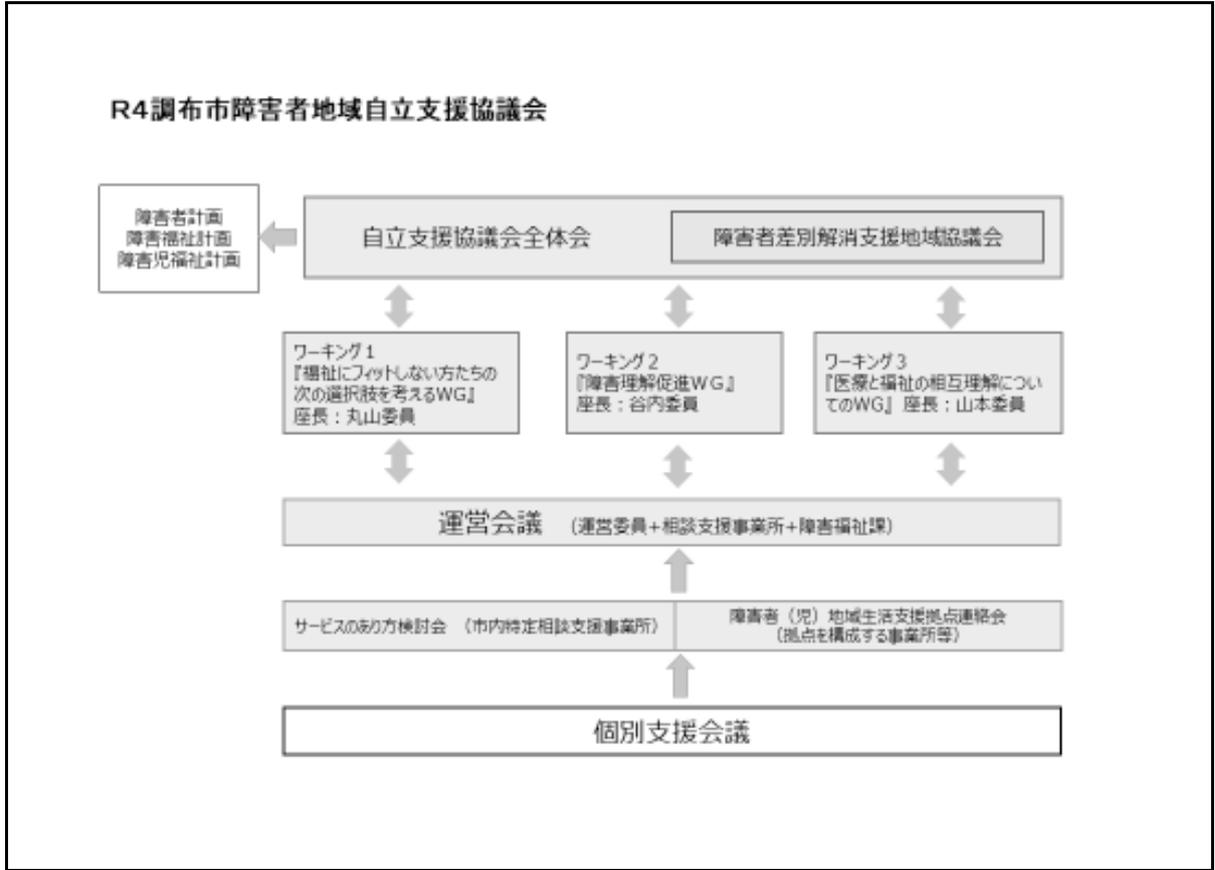
調布市

1 地域自立支援協議会の基本事項

(1) 名称 調布市障害者地域自立支援協議会

(2) ホームページURL <https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/genre/000000000000/1408334748660/index.html>

(3) 組織図



2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1	会長	谷内 孝行	桜美林大学健康福祉学科 准教授	学識経験者	
2	副会長	丸山 晃	立教大学コミュニティ福祉研究所 研究員	学識経験者	
3	副会長	山本 雅章	社会福祉法人 調布市福祉事業団 業務執行理事	学識経験者	
4		荻本 剛一	公益社団法人 調布市医師会 副会長	医療関係者	
5		川島 隆宏	特別支援学級設置校長会 調布市立第一小学校 校長	教育関係機関	
6		梅景 靖之	東京都立けやきの森学園 進路指導主任・主幹教諭	教育関係機関	
7		石井 喜元	調布市商工会 理事 商業部会副会長	企業	
8		渡辺 里江子	府中公共職業安定所 専門援助部門統括職業指導官	雇用関係機関	
9		小阪井 真樹子	調布市民生児童委員協議会 障がい福祉部会 第三地区民生委員	民生委員・児童委員	
10		井村 あゆみ	調布市聴覚障害者協会 理事	障害当事者・家族・関係団体	
11		江口 正和	調布市身体障害者福祉協会	障害当事者・家族・関係団体	
12		愛沢 法子	調布市視覚障害者福祉協会	障害当事者・家族・関係団体	
13		進藤 美左	NPO法人 調布市心身障害児・者親の会 会長	障害当事者・家族・関係団体	
14		江頭 由香	調布精神障害者家族会 かささぎ会 会長	障害当事者・家族・関係団体	
15		市橋 博	障害者と家族の生活と権利を守る都民連絡会 会長	障害当事者・家族・関係団体	
16		臼井 由紀子	アースサポート調布 訪問介護管理者	障害福祉サービス等事業者	
17		名古屋 一	NPO法人 ファーストステップ 施設長	障害福祉サービス等事業者	
18		木内 洋	社会福祉法人 調布市社会福祉協議会 調布市こころの健康支援センター センター長	社会福祉協議会	
19		堀江 香	一般社団法人 多摩南部成年後見センター 副所長	その他	
20		田島 誠	社会福祉法人 調布市社会福祉協議会 在宅支援担当課 課長	社会福祉協議会	

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
21		栗城 耕平	社会福祉法人 新樹会 地域生活支援センター希望ヶ丘 施設長	相談支援事業者	
22		円館 玲子	社会福祉法人 調布市社会福祉事業団 調布市障害者地域生活・就労支援センターちょうふだぞう 施設長	相談支援事業者	
23		篠原 洋平	調布市教育委員会教育部指導室 指導主事	教育関係機関	

(2) 委員構成

種別	全体会・部会名		福祉にフィットしない方たちの次の選択肢を考えるワーキング	障害理解促進ワーキング	医療と福祉の相互理解についてのワーキング	サービスのあり方検討会
	全体会					
学識経験者	3		1	1	1	
医療関係者	1				2	
保健所	0					
教育関係機関	3					
雇用関係機関	1					
企業	1					
障害当事者・家族・関係団体	6		1	3	5	
身体・知的障害者相談員	0		1			
相談支援事業者	2			1	2	14
障害福祉サービス等事業者	2			1	1	
社会福祉協議会	2		3	3		
法曹関係者	0					
民生委員・児童委員	1					
地域住民	0					
行政職員(区市町村)	0					
行政職員(都)	0					
その他	1		1			
計	23		7	9	11	14

3 地域自立支援協議会の活動状況

(1) 地域自立支援協議会での協議事項(複数回答)

① 相談支援事業の運営体制に関すること。

サービスのあり方検討会において、情報共有と事例検討。

④ 高齢者福祉サービスとの連携に関すること。

サービスのあり方検討会の中で、地域包括支援センター職員を招き、介護保険移行に際しての相談支援事業所の支援について事例検討。

⑤ 医療と福祉の連携に関すること。

専門部会の中で、医療アクセスの改善を図るため、医療と福祉の相互理解に向けて、市民及び医師会医療機関向けに実態把握アンケートを実施。

⑥ 困難事例等の解決に向けた検討に関すること。

サービスのあり方検討会の中で、事例検討を通して、解決に向けた意見交換を行うとともに、進行中の部会に通ずる課題を共有した。

⑦ 関係機関や他分野のネットワークに関すること。

サービスのあり方検討会の話し合いの中で、関係機関や他分野のネットワークに関することも併せて検討。居宅介護事業所を招き、意見交換、課題の共有を行った。

⑧ 社会資源の開発及び改善に関すること。

専門部会及びサービスのあり方検討会の話し合いの中で、社会資源の開発及び改善を図ることも含めて検討。

⑨ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること。

障害者差別解消支援地域協議会を設置し、相談事例の共有、意見交換、情報共有を行った。

⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること。

サービスのあり方検討会の中で、年2回地域生活支援拠点連絡会を開催。

⑪ 障害福祉計画等に関すること。

令和6年度策定予定の「調布市障害者総合計画」に向けての策定委員会が開始したため、意見具申を行った。

⑫ 地域自立支援協議会の運営に関すること。

運営委員を選出し、年2回運営委員会を開催し、自立支援協議会の議題等を話し合っている。

(2) 地域自立支援協議会としての役割（複数回答）

② 情報共有・情報発信

情報共有及び発信を図れるよう、障害のある方と関わりのあることが想定される多数の関係機関から選出された委員で構成している。

③ 分野を越えてのネットワークの構築

協議内容が他分野へフィードバックされるよう多数の関係機関から選出された委員で構成している。

⑤ 地域課題の整理

全体会及び運営会議等において、地域課題の意見交換や検討を行っている。

⑥ 課題解決に向けての検討

地域課題は部会を中心に改善に向けた調査や検討を行い、全体会の場で報告し、協議している。

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

計画策定時に意見具申を行ったり、計画案に関する意見及び計画期間中の進捗状況の評価、点検を行う。

⑧ 社会資源の開発及び改善

協議会の意見から、市の事業の創出や拡充、施設の開設につながった事例がある。

⑨ 構成員の資質向上・研修の場

サービスのあり方検討会において、相談支援専門員のケアマネジメント能力の向上と均質化を図ること等をはじめ、相談支援の質の向上を図るための意見交換や研修を実施している。

⑩ 権利擁護・虐待防止

障害者差別解消支援地域協議会を同時実施し、合理的配慮事例等の情報共有を行い、障害理解の促進を図っている。

⑪ 相談支援過程における評価（相談支援の質の評価、機関等及びそれらの連携に関する評価、施策に関する評価、政策作成に係る提言）

サービスのあり方検討会において、相談支援専門員のケアマネジメント能力の向上と均質化を図ること等をはじめ、相談支援の質の向上を図るための意見交換や研修を実施している。

（3）地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

① 相談支援の質及び量

サービスのあり方検討会において、相談支援専門員のケアマネジメント能力の向上と均質化を図ること等をはじめ、相談支援の質の向上を図るための事例検討、意見交換や研修を実施している。

③ 権利擁護・虐待防止

障害理解の促進

⑤ 福祉人材（マンパワー）の確保

令和3年度まで行っていた「相談支援事業所と居宅介護事業所の連携についての実態把握ワーキング」の中で検討した内容を踏まえ、サービスのあり方検討会にて居宅介護事業所を招き、意見交換、課題の共有を行った。

⑥ 緊急・災害等対応

令和3年度まで行っていた「非常時のネットワークづくりワーキング」の中で、ネットワークの構築について検討した内容を踏まえ、災害時の情報共有と相互協力の調整を行う「災害福祉ネットワーク」を試行している。

イ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

⑤ 福祉人材（マンパワー）の確保

居宅介護事業所における慢性的な人材不足が課題。障害理解を含む人材育成及び障害分野における報酬単価の低さが現場の課題として上がっている。市内にとどまらない課題も大きいため、広域的な取り組みが望ましい。

⑦ 医療的ケア

訪問看護師の人材不足、乳幼児期からの預け先不足、特別支援学校との連携、通所及び短期入所施設の少なさ、支援に入ることのできる居宅介護事業所の少なさ、相談支援事業所の引き受け手の少なさ、家族支援の少なさ等全体として資源の少なさが課題。教育、福祉、医療が一体となった支援が必要広域的な観点で整備に取り組めるとよい。

調
布
市

4 地域移行・地域生活支援を進めるための社会資源

（1）当事者の声や願いと有効な社会資源

地域移行・地域生活支援を進める際の当事者の声や願い（複数回答）	願いをかなえるために有効な社会資源（複数回答）														その他		
	地域生活支援拠点等	基幹相談支援センター	相談支援事業所	自立生活援助事業所	就労移行支援事業所	就労定着支援事業所	グループホーム	地域活動支援センター	地域移行支援事業所	地域定着支援事業所	日中活動の場	訪問系サービス	短期入所事業	医療機関		ピアサポート	不動産事業者（※）
①入所施設から退所して、地域で暮らしたい。		○	○				○		○	○	○						

地域移行・地域生活支援を進める際の当事者の声や願い（複数回答）	願いをかなえるために有効な社会資源（複数回答）																	
	地域生活支援拠点等	基幹相談支援センター	相談支援事業所	自立生活援助事業所	就労移行支援事業所	就労定着支援事業所	グループホーム	地域活動支援センター	地域移行支援事業所	地域定着支援事業所	日中活動の場	訪問系サービス	短期入所事業	医療機関	ピアサポート	不動産事業者（※）	有効な社会資源はない。	その他
②精神科病院から退院したい。		○	○				○	○			○	○		○				
③困ったときに気軽に相談できるところがほしい。	○	○	○					○										○
④情報不足やわかりにくいときに、手助けしてくれるところがほしい。		○	○															
⑤地域で生活することに関して、いろいろな選択肢を知りたい。		○	○															
⑥地域生活を始めるにあたっての不安を解消してくれたり、自信を取り戻すことに力になってくれたりする人がいてほしい。		○	○				○				○	○						
⑦地域移行に向けて「体験の場」がほしい。			○															○
⑧一人暮らしをするための物件探しが難しいので、相談にのってほしい。		○	○															○
⑨地域移行から定着までを通して支援する仕組みがほしい。			○															
⑩親亡き後の生活が心配なので、相談にのってもらえるところがほしい。	○	○	○				○											○
⑪訪問診療や介護を利用したい。												○	○					
⑫災害が起こったらどうすればよいか不安なので、相談にのってほしい。			○															
⑬余暇やスポーツ活動を楽しみたい。										○								○
⑭その他																		
合計	2	8	11	0	0	0	4	0	3	1	4	2	1	2	0	0	0	5

※障害者が一人暮らしできる住居を探してくれる不動産事業者

その他の具体的な内容（有効な社会資源）

市障害所管課